特集

市制施行60周年を迎える野田の今

野田市は、昭和25（1950）年5月3日、県内で8番目の市として誕生しました。

以後、32（1957）年に川間村と福田村、さらに平成15年6月6日には関宿町との合併を経て、現在の姿となり、22年5月3日には市制施行60周年を迎えます。

市では現在、「新市建設計画（野田市総合計画）」に基づいて、「市民と行政の連携」「保健・福祉・医療の充実」「教育・文化の充実」「生活環境の整備」「産業の振興」「都市基盤の整備」の6つの基本目標を掲げ、計画を確実に実現するため目標に沿って「市民協働型まちづくり」「高齢者や障害者にやさしいまちづくり」「健康で安全に暮らせるまちづくり」「子育てのしやすいまちづくり」「豊かな心を育むまちづくり」「みどりと花と水のまちづくり」「交通の便利で快適なまちづくり」「中心市街地のまちづくり」「梅郷駅周辺のまちづくり」の9つの重点プロジェクトを設定し、実施しています。

今号では、旧関宿町との合併から7年になる現在の野田市の姿を、「新市建設計画」に沿って進めている主な事業を中心に、地区別にご紹介しました。

表紙右上のイラストは、野田市制施行60周年を迎えるにあたり公募して選ばれた、野沢和子さん作のシンボルマークと石原典武さん作のキャッチフレーズ「住んで良かった　ほのぼの野田市」を組み合わせたものです。

◆目　次◆

3 関宿地域
いちいのホール　六丁四反水路
江戸川左岸連絡道路　関宿総合公園体育館
親野井羽貫線　消防署関宿北出張所
関宿あおぞら広場　関宿はやま工業団地

7 川間地区
川間駅北口駅前広場　船形吉春線
「つばさ」と「ひばり」　「ゆめあぐり野田」
堆肥センター

9 北部地区
七光台駅西口　北部まめばん

10 東部地区
玄米黒酢での水稲栽培　不燃物処理施設

11 中央地区
愛宕駅と周辺市街地活性化　野田市駅西土地区画整理事業
連続立体交差事業　陸上競技場
スケートボードパーク　清水公園駅東口・駅前線
春風館道場　市民会館・郷土博物館

14 福田地区
三ツ堀里山自然園　江川地区のビオトープ化

16 南部地区
梅郷駅周辺整備

17 市域全域
福祉のまちづくり　学童保育所の過密化の解消へ
市独自の介護予防　障害者就労支援策
市独自の雇用対策　プラットフォーム事業
行政改革　まめバスの運行

21 歴史のある風景「郷土博物館と市民会館」
24 私のふるさと再発見
26 2009 市政ハイライト
28 句歌で巡る野田⑮「若山喜志子」